

教育目標
めざす子ども像

『豊かな心を持ち 共に学び合う 元気でたくましい伊尾木っ子の育成』
(1)主体的・協働的に学ぶ子 (2)「思いやりの心」「感謝の心」「たくましい心」そして、健康な体を持つ子
(3)臆せず堂々と表現でき、コミュニケーション力を持つ子(元気にあいさつができる子)

伊尾木小学校 学校だより



なぎの木

令和7年度3月号 3月2日発行

☆ いよいよ本年度最後の月 ☆

早いもので、暦は弥生3月へと歩みを進め、いよいよ本年度の最後の月になりました。子どもたちは、学年のまとめに一生懸命取り組んでいます。風邪などでの欠席もほとんどなく、子どもたちは元気に登校しています。

15名の子どもたちは無事、各学年のゴールを迎えようとしています。6年生は3月21日(卒業式)、母校を巣立っていきます。残された日を悔いなく過ごしてほしいと願っています。

☆ 学習発表会 ☆

2月7日(土)地域の方をお招きしての学習発表会を開催しました。たくさんの観衆に緊張しながらも、子どもたちはこの1年の学習の成果を堂々と披露することができ、貴重な経験をさせていただくことができました。ありがとうございました。



☆ 自分で考えて行動する避難訓練 ☆

防災学習のまとめの意味も込めて、2月16日(月)昼休みに避難訓練を行いました。この日に訓練を行うことは、児童には一切知らせていませんでした。1年間、想定を変えながら繰り返してきた避難訓練の集大成として、昼休み、自由に行動している中で、自分で考えて行動できるかどうか問われる訓練でした。13時20分に訓練用のJアラートが流れると、運動場で遊んでいた子どもたちは教員が指示するでもなく、自分たちで中央に集まって身を守る姿勢をとることができていました。人数を確認した後、避難場所への移動を始めました。普段使う階段までたどり着いたところで、公民館の小島館長から「崩れて通れなくなっている」という情報があり、さらに東の階段に向けて移動し、避難場所まで移動しました。本当に地震が来たときには、普段と同じルートが使えるとは限らないということも学びました。



☆ 伊尾木保育所 年長さん体験入学 ☆

2月17日(火)伊尾木保育所の年長さんの体験入学を行いました。4月には、久しぶりの入学式を行います。期待と不安の中、年長さんが伊尾木小学校にやってきました。5年生の案内で校内を見て回り、20分休みは運動場で走り回り、3・4年生が用意してくれた歓迎の活動を楽しみました。久しぶりに上級生が1年生の手を引く姿が微笑ましいかぎりでした。4月が楽しみです。



☆ 高知県学力定着状況調査 ☆

12月3日(水)に高知県の小学4・5年生と中学1・2年生を対象とした高知県学力定着状況調査が実施され、その結果が公表されました。また、同じ日、3・6年生については、安芸市版学力調査が行われ、その結果も公表されました。本校の調査結果は、6年生の国語と5年生の3教科で全国平均を下回り、6年生の算数と3・4年生の2教科では全国平均を上回るというものでした。すでに、1月に自校で採点した結果をもとに、十分な力がついていないところへのフォローをしているところです。個人票及び問題冊子・答案用紙は、安芸市版学力調査の個人票等と合わせて、授業の中で返却します。学校では不十分だったところをフォローしていくとともに授業改善を図っていきます。家庭学習においても、それぞれの弱点克服にお役立ていただければと思います。

**☆ 学校評価アンケート
ご協力ありがとうございました ☆**

1月に児童・保護者・地域の方を対象に学校評価アンケートを実施しました。ご協力いただき、ありがとうございました。アンケートの集計結果(概略)をお知らせします。

【評価基準】

- ・肯定的評価(「そう思う」「だいたいそう思う」)が80%以上ならば、「概ね満足できる取組がなされている」と捉えました。
- ・肯定的評価が80%未満の項目は、学校の取組が不十分かもしれないと考え、取組を点検し改善策を考えるようにしました。

※児童用アンケートの分析

(1)児童アンケート結果は、すべての項目が80%以上でした。

(2)あえて、否定的な評価(あまり思わない、思わない)が他の項目より高い項目を見てみると、「④悩みや困ったことについて、先生に相談している。」「⑩休み時間や家に帰ってから運動するように心がけている。」ともに20.0%でした。



④については、あらゆる機会を通して、保護者や児童の声に耳を傾ける努力をし、相談しやすい、敷居の低い学校にしていきます。⑩については、熱中症予防のために外遊びができない日の増加に伴い、室内で過ごす日が増えたことも影響しているかもしれません。外遊びができる日には積極的に外に出るように働きかけていきます。

※保護者アンケートの分析

◎肯定的評価(そう思う・だいたいそう思う)が80.0%未満のうち、著しく低い項目は、「⑤お子さんは、悩みや困ったことについて、先生に相談していると思いますか」(57.9%=昨年から+6.4P)、「⑩学校は、子どもたちの将来に向けた生き方や職業についての理解を深めたりするような学習活動を行っていると思いますか。」(64.3%=昨年から-9.4P)でした。



⑤については、児童用アンケートに準じます。⑩については、社会科見学や総合的な学習の時間を使い、各方面にアンテナを張りながら取組を進化させていきたいと思っています。今年度の学習を通して、「ナスづくりをしたい」「建設の仕事に興味を湧いた」という児童もいました。

また、学校に力を入れて取り組んでほしいことについては、児童では、「①よくわかる、楽しい授業になるようにしてほしい」(27.8%)が最も高くなっています。

保護者では、「⑨不審者対策や地震・津波などの防災対策に力を入れる」(22.2%)が最も高くなっています。

学校としては、これら結果を踏まえて、肯定的回答(「そう思う」「ややそう思う」)が80%未満の項目は、学校の取組が不十分かもしれないと考えて点検し、次年度の教育活動の改善を図るようしていきます。

**裏面に、3月・4月の行事予定を載せています。
ご覧ください。**